入園案内

Asahijuku Kindergarten

ADMISSION GUIDE

朝日塾幼稚園は朝日学園グループの一員として、
「学ぶ力」「生活の基礎」「豊かな心」を育む全人教育をめざしています。

学校法人 朝日学園
朝日塾幼稚園

幼小中高が連携する朝日学園の強みを生かし、「個性を伸ばすハイレベルの教育」を実現します。

学園長あいさつ

朝日学園 学園長
鳥海 十児

幼児期は、人間形成の基礎を培う重要な時期です。朝日塾幼稚園は、1981年の開園以来、学校法人の教育施設として、幼児教育を推進してきました。
朝日学園の建学の精神は「個性を伸ばすハイレベルの教育」です。子どもは、集団の中で友達と一緒に学ぶことで、家庭ではできないさまざまな経験をし、多くを吸収します。その学びの中で自分らしさが引き出され、個性が輝いてくるのです。
昨今は、幼児を"教育する"ことよりも"預かる"ことに重きが置かれていますが、朝日塾幼稚園は、これからも園児の教育を最優先する私立幼稚園として、これまで以上に、質の高い教育に邁進してまいります。

園長あいさつ

朝日塾幼稚園 園長
永野 和子

本園の教職員の心の中心には常に園児がいます。
私は就任したばかりの新米園長ですが、教育アドバイザーである前園長、音楽や体育、英語などの専門講師をはじめ、10年、20年のキャリアを持つベテランの先生たちも多数おり、全幅の信頼を置いて教育活動を行っています。
昨今、幼児教育は大きな変化の流れの中にありますが、どんなときも決してぶれることなく、子どもの可能性を伸ばすことを最優先に考えています。子どもを育てることは未来を創ること。全教職員が心を一つにし、いかに時代が変わろうとも、変化にしなやかに対応しながら、未来を生きる子どもたちに必要な力を考え続けていきます。

教育理念・教育目標

朝日学園は「個性を伸ばすハイレベルの教育」を建学の精神に掲げ、幼小中高が連携して、次世代を担うリーダーたる人材の育成をめざしています。朝日塾幼稚園では「明るく素直な子ども」「よく遊びよく考える子ども」「きまりを守る子ども」を教育目標に、子どもたちの無限の可能性を引き出すため、学ぶ力、生活の基礎、豊かな心を育てます。

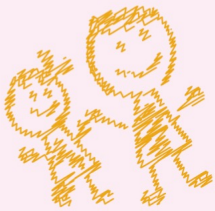
朝日塾幼稚園の強み

当園には、全教職員が持つ100ページ超のRULE BOOKがあります。これは、当園を信頼して入園していただいた保護者の期待に応えるために、園の方針を共通理解し、同じ価値観を持って園児の教育に努めるためのものです。開園以来の大切なノウハウが蓄積され、20年、30年のキャリアを持つベテランの先生たちが培った豊かな経験が高い教育水準を保ち、園児と保護者に安心感を与えています。
加えて「人は最大の環境である」との考えのもと、教員以外にも、課外授業や選択科目を担当する専門講師、養護教諭、入学アドバイザー、子育て中の保護者をサポートするカウンセラーなどの専門人材が当園の教育を共に支えています。

幼児期の教育は、これからの人生の基礎！
ここは、子どもが〝できるようになる〟幼稚園です。

01 Discipline

良い生活習慣と生活の基礎を身につける しつけをとても大切にしています。



社会性を育む基本的生活習慣

将来、大人として社会に出たとき、重要視される力の一つに社会性があります。人間関係を円滑に維持しながら社会生活を送るうえで、欠かせない性質です。
社会性に乏しく、"子どものころから"なかなか友達がつくれない、人と打ち解けられない、人と関わるのが苦手で悩んでいるという大人が多いように、人と人の関わり、人間関係の形成には、子どものころ、特に幼児期の生活習慣が大きな影響を与えます。
その社会性の基になる力が基本的生活習慣であり、身につけるには、根気よく繰り返されるしつけが欠かせません。担任やフリーの先生が統一された理解のもと、すべてのクラスで、繰り返し、ねばり強くしつけを行っています。

幼児期のしつけは成長の土台

朝日塾幼稚園は、しつけを教育の柱の一つにしています。人が社会の中でさまざまな人々と関わって生活していくには、習慣やルール、知識や道徳性を身につけ、人としての品性を備えることが大切です。
「しつけ」と聞くと、子どもを厳しくしかりつけるようなネガティブなイメージを抱く人もいますが、決してそうではありません。当園では、生活の基礎となる習慣を、繰り返し、丁寧に、根気よく身につけていきます。
手洗いやうがい、あいさつをしたり、姿勢を正したりすることも、子どもに押しつけるのではなく、日々の園生活の中で、その意味を納得させながら教えていきます。例えば排泄の自立も、「一人でトイレができたね!」と繰り返し褒めることが子どもの自信と喜びにつながり、次も一人でやってみようという意欲を引き出すのです。

あいさつ、姿勢、けじめ

例えば、1学期の2歳児であれば「保護者と離れることができる」、3学期の5歳児は「言葉を使い分けてあいさつができる」といったように、あいさつ、姿勢、けじめの「しつけ三原則」に基づき、2歳から5歳まで、それぞれの年齢に合わせた目標を学期ごとに決めています。
あいさつは、人とコミュニケーションを図るうえで最も大切。立ち止まって、相手を見て、しっかりとあいさつができれば、誰とでも関わることができ、相手の気持ちを受け入れる心が芽生えます。素直な気持ちが育つ「はい」の返事もできるように指導します。
さらに、集中力を高める「良い姿勢」を身につけさせ、けじめのつく子どもを育てます。したい放題ではなく、遊ぶときは遊ぶ、話を聞くときは聞くというように、自分で良いか悪いかを考え、行動できるようにします。

集中力・持続力を高める立腰教育

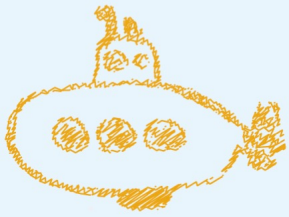
イスの背にもたれず座り、足の裏を床にぴたりとつけ、おしりを後ろに引いて、腰骨を前に出し、丹田(下腹)に心持ち力を入れて、あごを引き、肩の力を抜く。そして、黙って目を閉じる。当園が日々実践するしつけの一つに立腰があります。
立腰は、腰骨を立てた姿勢を保って学習・生活することにより、自己の主体性の確立をはじめとした人間形成を実現する実践的な方法です。 腰骨を立てることの意義は、古来より、武道などの日本文化のさまざまな分野で、経験則として実証されてきましたが、子どもに立腰を意識させることは、単に美しい姿勢を身につけるだけでなく、やる気が起こる、集中力や持続力が増す、行動力が俊敏になる、精神や身体のバランス感覚が鋭くなるなど、いろいろな効果が認められています。

思考力・探究心・知的好奇心・発想力・創造力…
子どもの成長は無限大です。

Intellectual Training

02

朝日塾幼稚園の知育教育は
常に上のステージをめざします。



就学を見据えた課外授業Grow UP

読み・書き・計算に加え、思考力を高める知育の課題にも取り組む課外授業「Grow Up（グローアップ）」。新小学校学習指導要領により必修化されたプログラミング教育を踏まえ、プログラミング的思考の基礎となる考え方を知る課題に取り組みながら、数字やひらがなの読み書きだけでなく、年齢に応じた思考力の伸長をめざします。
授業を担当する講師は、小学校受験のスペシャリスト。担任と情報共有をしながら、就学を見据えて進めます。
人が成長することを意味するグローアップ。自ら思考し、判断し、表現する力が求められるこれからの時代に、子どもたちが成長していくための土台づくりを大切にしています。そして、Grow Upの授業内容もさらなる進化を続けます。

短時間学習チャレンジタイム

数・ひらがな・知識（物の名前・季節・早口言葉・詩・ことわざ・単位等）を年齢に応じて無理なく定着させるため、毎日、朝の集会後に、フラッシュカードなどを活用した短時間学習「チャレンジタイム」を行っています。
単語や絵などが書かれたフラッシュカードを次々にめくって見せることで、反応速度は上がり、子どもたちはゲームをしている感覚で、どんどん脳に新しい情報をインプットしていきます。
一日のうちで、最も情報を吸収できる、脳のゴールデンタイムは朝だといわれています。短い時間でも毎朝継続することで、知識量を増やすだけでなく、身の回りの事象に興味を持ち、意欲的に知識を吸収する子どもに育てます。

WAKUWAKU SATURDAY

土曜日の本園はアクティブに過ごすWAKUWAKU SATURDAY。クラス・学年を超えて一人ひとりの園児の興味・関心の幅を広げ、思いきり遊ぶ中で共に育ち合い、学び合う活動の時間です。この日は制服ではなく、体操服、クラス帽子、外靴で登園します。
子どもは、心と頭と体を同時に動かしています。「やってみたい!」と心が動き、「どうやったらできる?」と頭で考え、「やってみよう!」と体を動かします。“ワクワク”では、しっかりと体を動かすことで園児の五感を刺激し、豊かな感性を育みながら、心の力・学ぶ力・体の力を育てます。
そして、「なぜ?」「どうして?」「もっとやりたい!」といった探究心・知的好奇心・創造力を大切にしながら、友達と一緒に過ごす楽しさをみんなで共有し、子どもの意欲や可能性を引き出していきます。

プログラミング的思考を育む

小学校でのプログラミング教育必修化を受け、年長児を対象にプログラミングのワークショップを行っています。
粘土遊びをするようにタブレットに触り、簡単なプログラミング言語を使って、アニメーションやゲーム、絵本を生み出せるアプリ「Viscuit（ビスケット）」を導入しています。自分が描いたキャラクターを自分の思い通りに動かしたり、友達が作ったキャラクターと一緒に映像を投影し、どのようにプログラムされているのかを考えたりと、子どもたちはみんなビスケットに夢中になります。
遊びながら直感的にコンピュータと対話できることをめざし、自ら考え、創造し、伝える力を育むことで、知らず知らずのうちにプログラミング的思考が育ちます。

練習での失敗や挫折も次へのステップ。
マーチング演奏を通して、子どもは大きく成長します。

03 Music

音を楽しんで、好きになってほしい。
音楽教育は園児に多くをもたらします。

音感やリズム感、豊かな感性を育む

朝日塾幼稚園の音楽教育は、「音」を「楽」しむこと、好きになることから始めます。
3歳児は、音楽の楽しさや基礎リズムを知り、リズム合奏をすること、4歳児は、基礎リズムを習得できるようにし、鍵盤ハーモニカに取り組むこと、5歳児は、基礎リズム、基礎ステップを習得し、マーチングや合奏を最後までやり遂げることが課外授業の目標です。
音楽指導では、鍵盤ハーモニカを吹いたり、バチ打ちを習ったり、年長児はマーチング演奏に向けた練習をしたりと、1拍ずつ数を数えながら手を打つリズム打ちから、徐々に楽器演奏へと進みます。歌唱指導では、発声練習だけでなく、歌詞の意味も教えています。音を楽しむことを通して、音感やリズム感を身につけ、豊かな感性を育てます。

忍耐力、協調性、社会性の育成

開園以来、年長児の教育にマーチング演奏を取り入れていますが、それは、マーチングが子どもたちを心身ともに大きく成長させると確信しているからです。大きな舞台に向けては、園児の感性に働きかけ、意欲的に取り組める曲を選びます。交替で練習することで、他のパートの演奏や演技にも関心を持ち、お互いに認め合ったり、励まし合ったりできる待ち時間も、重要な教育の機会だと考えています。
そして、日頃から立つ・座るの動作を機敏にし、大きな声を出すこと、背筋を伸ばして良い姿勢を保つことを習慣づけます。
練習でうまくいかなかったことや挫折も次へのステップ。マーチングを通して、頑張る気持ち、やればできるという自信、我慢する忍耐力、集団の中の自分を意識する社会性や協調性を育みます。

「マーチング・イン・オカヤマ」に連続出場

市民でつくるマーチングの大会として、県内外や海外からもマーチングバンド・バトントワーリングの団体が参加し、演奏やパフォーマンスを披露する「マーチング・イン・オカヤマ」。当園は、年長児が毎年参加し、1989年の第2回大会より連続出場を続けています。
みんなが主役になれるこの大舞台が園児たちにもたらすのは、みんなで一つのことをやり遂げる経験です。できるようになるまでに、かかる時間はそれぞれに違っても「どの子もできる!」と信じて、教員も音楽の専門講師もチームになって指導をしています。
一人ひとりの音がみんなの音となり、一人ひとりの心が大きな力を生み、感動を生む晴れ舞台です。子どもにとって大きな成功体験となり、マーチング・イン・オカヤマを終えると、一回りも二回りも成長しています。

生活発表会・音楽発表会の舞台へ

毎年2月、岡山市民会館に保護者や家族を大勢招き、朝日塾幼稚園の生活発表会と、幼小中等の子どもたちが参加する朝日学園の音楽発表会を開催しています。
生活発表会では、2歳児から5歳児まで、各学年がお遊戯、英語の発表、鍵盤ハーモニカや打楽器による合奏を舞台で披露し、日頃の練習の成果を観客に見てもらいます。
音楽発表会では、年長児がマーチング・イン・オカヤマの本番さながらに、鮮やかな赤と白の衣装を着て、練習を重ねてきたマーチング演奏を堂々と披露します。
いずれの発表会も、舞台は大きな拍手と声援に包まれ、発表を終えた子どもたちの表情は満足感と達成感に満ちあふれています。

子どもは楽しいことが大好き！
英語も楽しめたら確実に身につきます。

04 English

ネイティブ講師との楽しい英語レッスンで単語と正しい発音を集中的に学びます。ABC

講師は国際バカロレア(MYP)を担当

建学の精神のもと、幼小中高が連携して教育を進められることは、朝日学園の大きな強みです。
年少・年中・年長クラスで英語の課外授業を行うクリス先生は、ネイティブ講師であるだけでなく、朝日塾中等教育学校では国際バカロレアのMYP(ミドル・イヤーズ・プログラム)の指導を担当しています。
ほとんどの子どもが生まれて初めて生の英語に触れる3歳児クラスでは、日本語なら知っている野菜や果物などの身近な単語と、その正しい発音を集中的に学びます。最も大切なことは、子どもたちが授業を楽しんでいること。イラストの描かれたカードを使ったり、クリス先生がジェスチャーをしたり、視覚と聴覚をフルに使って語彙力を高め、ネイティブのようなナチュラルな発音をめざします。

年少・年中・年長の全クラスで英語授業

3歳児から5歳児まで、ネイティブ講師のクリス先生から指導を受けられる英語のレッスンは、子どもたちに人気なだけでなく、保護者のニーズも高い課外授業です。
英語の早期教育の最大のメリットは、発音です。発音は、スポーツなどと同じ運動動作であるため、1日でも早く始めたほうがナチュラルに発音できるようになります。英語を発音するときの立体的な口の動かし方も、幼児期に発音練習を始めると、自然と身につきます。
年少・年中・年長の全クラスで、経験豊かなネイティブ講師から学べる恵まれた英語学習環境は、私立幼稚園ならでは。
必須の課外授業だけでなく、5歳児は選択科目でも英語を選ぶことができ、こちらもクリス先生が担当します。

将来、英語が苦手科目にならないように

英語の課外授業には、年齢ごとに明確な教育目標があります。3歳児クラスでは、英語の楽しさを知る、簡単なあいさつ、単語がわかる、外国人講師と触れ合い、親しむことが1年間の目標です。4歳児は、英語に喜んで親しみ、簡単な文章がわかるように、5歳児は英語に親しみ、積極的に話すこと、簡単な文章を言えることが目標です。
小学校高学年から英語に触れる機会がありながら、高校生になっても英語がまったく聞き取れない、話せない生徒が多いことに、来日して驚いたというクリス先生。将来、英語が苦手科目にならないように、年少から年長までの3年間で英語学習の基礎をつくるという追加目標を立て、日本人が苦手なBとV、ThとS、RとLなどの発音の違いを繰り返し教えています。

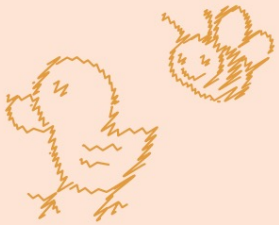
2005年から英語を教える人気講師

クリス先生こと、Christopher Farrin(クリストファー・ファリン)先生は、オーストラリア・シドニー出身。大学の専攻は言語学という言語の専門家です。高校の外国語選択で日本語を選び、高校2年生で岡山を訪れました。シドニーと"違いすぎた"日本の生活に好感を持ち、大学卒業後に再来日。縁あって2004年から朝日塾中等教育学校に、翌2005年からは朝日塾幼稚園で課外授業と選択科目の英語を教えています。
授業中の園児とのコミュニケーションも、耳を慣れさせるために基本的には英語ですが、話すことがきちんと伝わるように、日本語も混ぜながら、子どもが楽しめる授業を進めています。
レッスンが終わっても園児が先生の周りを離れず、しばらく帰れないほどの人気ぶり。2児のパパでもあります。

体を動かす楽しさを学んで運動の基礎を身につけ、
できたときの喜びを先生や友達と共有します。

05 Physical Education

幼児期に育む体力と運動能力が豊かな人生を送る土台となります。



運動って楽しい!　できるとうれしい!

朝日塾幼稚園は、子どもの限りない可能性を引き出すには、心の力・学ぶ力と併せて、体の力を育むことが大切だと考えています。
しつけの一つとして実践している立腰教育でも、腰骨を立てて座り、じっと同じ姿勢を保つには筋力が必要です。短い時間でも毎日続けることで、体幹が鍛えられていきます。
課外授業の体育では、子どもたちが体を動かすことの楽しさを知って「運動って楽しい!」と感じながら、運動の基礎を身につけることを目標にしています。授業の多くを行うホールでは、体操マットの上で前転・後転をしたり、平均台の上を歩いたり、鉄棒にぶら下がったりと、年齢に応じて、さまざまな挑戦をします。そして、「できるとうれしい!」と感じる小さな成功体験の積み重ねが子どもの自信につながっていきます。

体力・運動能力の基礎を培う

子どもの体力・運動能力の低下が問題となっていますが、これはアスリートを育てるような高度な運動能力の話ではなく、子どもが豊かな人生を送るための土台となる体力や運動能力のことです。身長や体重などの体格は向上しているにもかかわらず、ケガをする子どもが増え、体を動かすことが苦手な肥満の子どもの数も増え続けています。
幼児期は神経機能の発達が著しく、タイミングよく動く、力の加減をコントロールするなどの運動を調整する能力がぐんと伸びる時期です。この能力は、新しい動きを身につけるときに重要な働きをするだけでなく、的確な状況判断で事故やケガを防ぐことにもつながります。
当園では、体育の授業はもちろん、体の力を育む楽しい行事や活動を通して、児童期以降の運動機能の基礎をつくります。

社会適応力や認知的能力の発達

幼児期の運動は、体力・運動能力以外にも、さまざまな力を育てます。
2歳、3歳で入園する子どもたちは、園生活を通して徐々にたくさんの友達と遊ぶことができるようになります。その中で、集団生活のルールや約束事を守り、自己を抑制し、友達とコミュニケーションを取り合いながら協調する社会性が養われます。体育の時間にも、整列して先生の話を聞いたり、静かに順番を待ったり、楽しく体を動かして遊ぶ中で、社会適応力を身につけていきます。
また、子どもは、状況を判断して体を動かすまでに脳の多くの領域を使うため、俊敏な動きや、状況判断・予測を行う全身運動は、脳の運動制御機能や知的機能の発達に有効だと考えられています。つまり、体育の時間に行う遊びや運動が、認知的能力の発達も促すのです。

5歳で逆上がりと側転ができる子どもに

年少・年中・年長クラスと選択科目の体育を担当するのは、AKP体操教室のコーチ。体を動かすことの楽しさを学び、運動の基礎を身につけることが、体育の授業の教育目標ですが、加えて、年長になったときに逆上がりと側転ができるよう、段階を踏んで指導しています。年少児は腕支持（ツバメ）ができるように、年中児は自重を支えられるようにと、授業の中で少しずつ挑戦しながら、目標の達成をめざします。
きちんと正しく指導することで、ケガをせず、楽しく運動能力を高め、基礎体力をつけることができます。生涯にわたって健康的な体を維持することは人生のテーマ。就学までに基本的な体の動かし方を知り、体を動かす楽しさを十分に感じることで、これから出会うさまざまなスポーツに意欲的に取り組めると考えています。

課外授業は、知育遊びと体育。
楽しい遊びには、初めての経験がいっぱいです。

2 Year Old Program

06

一時預かりではなく、2歳児クラスです。
他学年と同様に、教育カリキュラムがあります。

自立への一歩を支えるプログラム

朝日塾幼稚園は2歳児から入園できます。一時預かりではなく、登・降園の時間も他学年の園児たちと同じです。2歳と5歳のきょうだいが一緒にスクールバスで通っているご家庭もあります。

登園後は、外遊びや室内遊び、朝の集まり、帰りの集まり、クラス活動、課外授業、給食やおやつの時間、片付け、排泄まで、基本的にデイリープログラムに沿って過ごします。

当園が2歳児に園生活を通して経験してほしいことは、基本的生活習慣を身につけ、遊具・玩具をみんなで共有していることや、集団生活にはいろいろな約束事があることを知り、友達という存在に気づいて、一緒に遊ぶと楽しいと感じることです。2歳児クラスにはベテラン教諭を配置し、教員がチームとなって、園児の自立への一歩を支えています。

「保育を行う」ではなく「生活を行う」

つい最近まで1歳だった子どもがとても幼く見えるように、月齢による個人差が大きいのも2歳児クラスの特徴です。

2歳児の自立への第一歩となる園生活は、基本的に家庭の延長線上と理解し、教員は「保育を行う」のではなく、「生活を行う」ことを一番に考えます。

室内は落ち着く雰囲気づくりを心がけ、デイリープログラムのスケジュールに沿いながらも、ある程度の時間の幅を持って過ごさせます。教員は、一人ひとりの発達に合わせて無理なく過ごせるよう手助けをしながら、まずは、保護者と協力し、基本的な生活習慣を身につけさせることに重点的に取り組みます。トイレトレーニングも無理をせず、家庭での様子を聞きながら、その子どもに合った時期に始めます。

指先と脳を刺激する「知育遊び」

2歳からぜひ取り組んでおきたい知育と体育は、専門の講師が課外授業で指導します。この"二育"は、子どもの発達において結びつきが深く、相互に作用します。体・頭・指先の発達段階に応じ、楽しみながら知育と体育の能力を伸ばしていきます。

一般的に、2歳になると「言葉の爆発期」に入り、語彙数が一気に増えて、言葉を使ってコミュニケーションを取れるようになります。

また、物の位置や順序などにこだわりを持つ「秩序の敏感期」ともいわれています。2歳児の「知育遊び」の授業では、積み木や造形を通して手指の巧緻性を高め、集中力が身につく活動を行います。

この時期にたくさん知育遊びをすると、幼い子どもたちは、驚くくらいにどんどん吸収していきます。

"賢い体"を育てる体育指導

課外授業の体育を担当するのは、指導経験が豊富なベテラン専門講師の秋田裕子先生。「とにかく運動を好きになってもらいたい。一生をこの体と生きていくわけですから、運動に苦手意識を持たず、体を動かすことが楽しいと思えると、人生は変わります。育てたいのは、賢い頭より賢い体です」と、幼児期の体育の重要性を強調します。

「2歳児の能力には個人差があって、できることも違う。月齢や生まれつきの体格に違いはあっても、それは経験数の違いで、運動能力が低いわけではありません。最初から挑戦しようとすらしない子どもでも、今できることの少しだけ先へ、小さなステップを積み上げて、できなかったことが一つできたときの〈やったー!〉を積み重ねていけば、次への意欲がわいて、運動が好きな子どもに成長します」

課外授業と選択科目

本物を体験し、本物から学ぶ。プロフェッショナルが教えるカリキュラム

クラス活動の時間には、担任の先生と一緒にする活動のほかに、専門講師が教える課外授業があります。これは朝日塾幼稚園の特色の一つでもあり、幼いころから本物を体験し、本物から学んでほしいという教育への強い思いが込められたカリキュラムです。

年少・年中・年長児のクラスでは、英語、Grow Up（グローアップ）、音楽、体育、歌唱を、年長児にはプログラミングのワークショップも実施。各分野のプロフェッショナルである専門講師が園児の年齢に合わせたプログラムをつくり、楽しい授業を行っています。2歳児クラスは、知育遊びと体育から本物を学びます。

年長になると、英語、知育遊び、体操、テニス、茶道、絵画、ヒップホップから選択科目を選んで学ぶことができます。

テニス Tennis

茶道 Tea Ceremony

体操 Exercise

ヒップホップ Hip Hop Dance

朝日塾幼稚園での生活

幼稚園の一日

8:30~	登園　朝の準備（お着替え）　自由遊び
9:45	片付け
10:00	朝の集会　朝の会　クラス活動
12:00	給食
13:30	降園準備　帰りの会
14:00	降園

主な年間行事

4月	入園式
5月	子どもの日の集い　春の親子遠足
6月	園外保育（年数回）
7月	七夕会　夏まつり　お泊まり保育（年長）
9月	お月見会
10月	マーチング・イン・オカヤマ（年長）　運動会　遠足
11月	いもほり　お店屋さんごっこ　親子クッキング
12月	餅つき大会　クリスマス会
1月	誕生祝い会（隔月）
2月	生活発表会　節分会　音楽発表会
3月	ひなまつり　卒業式

子どもの安全と保護者の安心のために

口にするものが体をつくり、食育が心を豊かにする

01 いのちを育む食の安全

子どもたちが安全なものを楽しく食べられるよう考えられた給食とおやつの時間。園が提供する自然派給食は、新鮮で安全な国産食材にこだわり、10種類以上の野菜を使ったヘルシーな献立で、園児の味覚の発達を促す薄めの味付けにしています。給食も、自然食品が中心のおやつも、7大アレルゲンを含まないので安心。季節の野菜を育てて収穫したり、日本の伝統文化や食文化を知ることができる特別な料理やおやつを食べたりすることで、食に興味・関心を持ち、食べることを楽しめる子どもに育てます。
また、安全でおいしい水をいつでも飲めるように、浄水機能付きウォーターサーバーを園内に設置しています。

無線や位置情報検索システムを導入し、必ず職員が添乗

02 バス送迎時の安全対策

送迎4コースで使用するスクールバスには全車に無線が装備され、園児の体調不良や緊急発生時にはリアルタイムで園と連絡が取れます。また、スクールバス位置情報検索システムを導入し、保護者はスマートフォンでバスの走行位置を確認できます。
送迎には必ず教職員が添乗し、ベテランドライバーとともに細心の注意を払って安全な登降園を心がけています。

不審者や危険から子どもの安全を守る

03 警備の強化とセキュリティ対策

子どもが巻き込まれる事件や犯罪の増加に鑑み、セキュリティ対策の専門家のアドバイスを受けて、園舎の施錠や通路・門扉の警備を強化しました。現在は6台の防犯カメラで監視・録画し、24時間体制で園内外の環境を見守っています。遊具の点検や園庭プールの水質検査はもちろん、UVカットシェードによる紫外線対策やミストシャワーによる熱中症対策も行い、安全で快適な園生活が送れるよう配慮しています。

担任が非常通報装置を常に携帯

04 ペンダントで緊急即時通報

ペンダント型の非常通報装置を担任が首にかけて携帯しています。非常ボタンを押すだけで、ただちに警備会社や警察に通報されるため、教員が廊下や園庭など、保育室以外の場所にいても、すぐに異常時の対応ができます。
さらに、全教職員がホイッスルを携帯し、異常・非常をいち早く周囲に伝える体制を整えています。

災害発生時に安全・確実に避難し、子どもの命を守る

05 防災訓練

定期的に、火災や地震などの自然災害に備えた避難訓練を行っています。教員は非常時における避難方法や避難経路を確認し、幼い園児たちも先生の指示に従って、落ち着いて避難できるように訓練をしています。
また、災害の発生によって孤立した場合を想定し、飲料水等を備蓄しています。

万一に備えて救命救急講習を毎年実施

06 教職員研修

火災や地震、津波、不審者侵入など、あらゆる緊急事態のシミュレーションを重ね、緊急時に適切な行動がとれるよう教職員の研修を実施しています。心臓マッサージ、人工呼吸による心肺蘇生や、AED（自動体外式除細動器）を使った一次救命処置など、全教職員が救命救急講習を毎年受け、万一の事態に備えています。加えて、エピペン（アナフィラキシー補助治療剤）の講習会にも参加しています。

子育て支援 サポートプログラム

預かり保育

保護者の希望に応じて、正規の保育時間の前後にお子さまをお預かりします。当園の預かり保育は、保護者の就業の有無に関係なく、2歳児から5歳児まで、月曜日から土曜日まで毎日でも、1日だけでも利用できます。夏休みなどの長期休みの間もお預かりし、子育てを全力でサポートしています。
子どもたちは、クラスを超えて、異年齢の友達と一緒に過ごします。

預かり時間 月 火 水 木 金	預かり時間 土
7:30〜8:3 0（保育開始時間）	7:30〜8:3 0（保育開始時間）
14:0 0（保育終了時間）〜18:0 0	12:0 0（保育終了時間）〜18:0 0
18:00〜19:00	

うさぎクラブ

就園前のお子さまとその保護者向け 子育て支援親子クラブ（会員制）

「入園前に少しでも園に慣れておきたい」「お友達ができたらいいな」「子育ての悩みを一緒に話し合えたら…」など、理由は何でもOK。園長歴15年の前園長をはじめ、経験豊富なスタッフが子育てをサポート。子どもだけでなく、親同士の輪も広げて、みんなで子育てを楽しむ場を提供しています。また、親子で朝日塾幼稚園の保育を定期的に体験することで、お子さまは幼稚園生活にスムーズに移行できます。

開　催	月1回程度	会　費	1回: 1,000円

こうさぎひろば

未就園の乳幼児とその保護者向け 誰でも参加できる子育てイベント

幼稚園に通っていない乳幼児（0〜2歳児）とその保護者を対象にした子育てイベントです。いろいろな楽しい企画を用意し、子育てと子どもの成長を応援する"親子のあそび場"を提供しています。興味がある方はどなたでも参加OK。次回以降の内容はその都度ご案内します。

開　催	月1回程度（不定期）
参加費	1回: 800円程度

スクールバスのご案内

黄・赤・青・藤の4コースを運行しています。スクールバスの乗降場所まで送迎をお願いしています。主な停留所は下記の通りです。詳しくは、お問い合わせください。

黄コース

幼稚園－岡山病院前－市役所前－厚生町－大元病院前－大福中－妹尾マルナカ－せのおニューシティ入口－妹尾駅南口－幼稚園

赤コース

幼稚園－旭東病院－倉富ローソン－福泊－藤崎－博愛会病院前－マルナカ－南区役所前－JA藤田－幼稚園

青コース

朝日塾小学校－横井小前－半田山ハイツ－津高台－商大前－武道館－岡工前－厚生クリニック前－大野辻－幼稚園

藤コース

幼稚園－日赤前－十日市－国富－岡山中央警察署前－駅西口－河田病院前－西警察署前－御南西公民館－幼稚園

学校法人 朝日学園

朝日塾幼稚園

Asahijuku Kindergarten

〒700-0955　岡山市南区万倍 30-20

0120-151-944

TEL：086-243-4111

FAX：086-243-5921

E-Mail：kind@asahijuku.ac.jp

URL：https://www.asahijuku.ac.jp

詳しい情報はホームページより

朝日塾幼稚園　検索

朝日学園グループ

学校法人 朝日学園 **朝日塾小学校**

〒701-1143　岡山市北区吉宗 856

0120-446-856

TEL：086-294-5400　FAX：086-294-5650

E-Mail：elem@asahijuku.ac.jp

学校法人 みつ朝日学園 **朝日塾中等教育学校**

〒709-2136　岡山市北区御津紙工 2590

0120-322-419

TEL：086-726-0111　FAX：086-726-0400

E-Mail：high@asahijuku.ac.jp

学校法人 みつ朝日学園 **鹿島朝日高等学校**

〒709-2136　岡山市北区御津紙工 2590

TEL：086-726-0120　FAX：086-726-0130

E-Mail：nishiguchi@kashima-g.ac.jp